

## はしがき

「人的資源管理」の世界へようこそ！

この世界の扉を開けてくださったことに、まず敬意を表します。なぜなら、この書を手にしたあなたは、この世界に関心を抱き、身近な出来事に対して、それが「どうして重要なのか」「何が問題なのか」、という基本を理解したいと望んでいるに違いないからです。そうした気持ちこそが、人的資源管理を学ぶ上では最も重要だと、私たちは考えています。

本書は読者となる方々、すなわち、本書のテーマに興味をもつ学生さんや一般の方々、そして現場の方に、人的資源管理について学び始めの段階で、最新の情報や課題などをしっかりと理解してもらい、さらに、人的資源管理の理論や現在の日本の労働政策（労使関係や社会保障等々）、行政の構造や制度について、その意義や実態、制度趣旨までを理解いただけるように意図しています。そうして、「人的資源管理」を基礎から理解し、その全体を俯瞰できるようになれば、あなた自身が、これから遭遇する出来事に対して、主体的に考え、対応していける基礎力を身につけることができるでしょう。そしてそれは、生活の中で極めて身近で重要な「人的資源管理」を学ぶことの意義と充実感をもっていただくことになると考えます。

このような目的を掲げ、本書の執筆者である労務理論関連の研究者たちは、これまで蓄積してきた研究成果を基に、編著者および出版社の編集者と一致協力して、この充実した教科書を作り上げました。本書が、人的資源管理の世界の扉を開け、問題意識をもって学ぼうとする志高き読者の方々と、その方々の人生に少しでも寄与する書籍となれば幸いです。

最後に、熟考を重ねて本書を企画・執筆・編集する上でリーダーシップを発揮された編者の佐藤飛鳥先生、浅野和也先生、橋場俊展先生に深謝します。また、執筆の機会を与えてくださった法律文化社の畑光社長と、この渾身の作を完成へと導いてくださった、私たちのかけがえのない編集者である梶谷修氏と田引勝二氏に心より感謝申し上げます。

2024年9月

人的資源管理の世界を学び、自らがグローバル社会の人的資源と  
ならんすべての読者に本書を捧げたい。

労務理論学会第11期会長 中村艶子